

2011/7/22 WWFジャパン「省エネルギーシナリオ発表会」

東京都の省エネ・節電対策


～過度の電力依存社会からの脱却をめざして



東京都環境局長
大野輝之

本日のお話

1. 「東京都電力対策緊急プログラム」の概要と
取組の状況
2. 今夏の経験を活かし、
低炭素で安全安心な電力システムへ

An aerial photograph of Tokyo, Japan, showing a dense urban landscape with numerous skyscrapers and residential buildings. A semi-transparent white rectangular box is overlaid in the center of the image, containing the title text. The background is slightly hazy, suggesting a clear but bright day.

1 「東京都電力対策緊急プログラム」 の概要と取組の状況

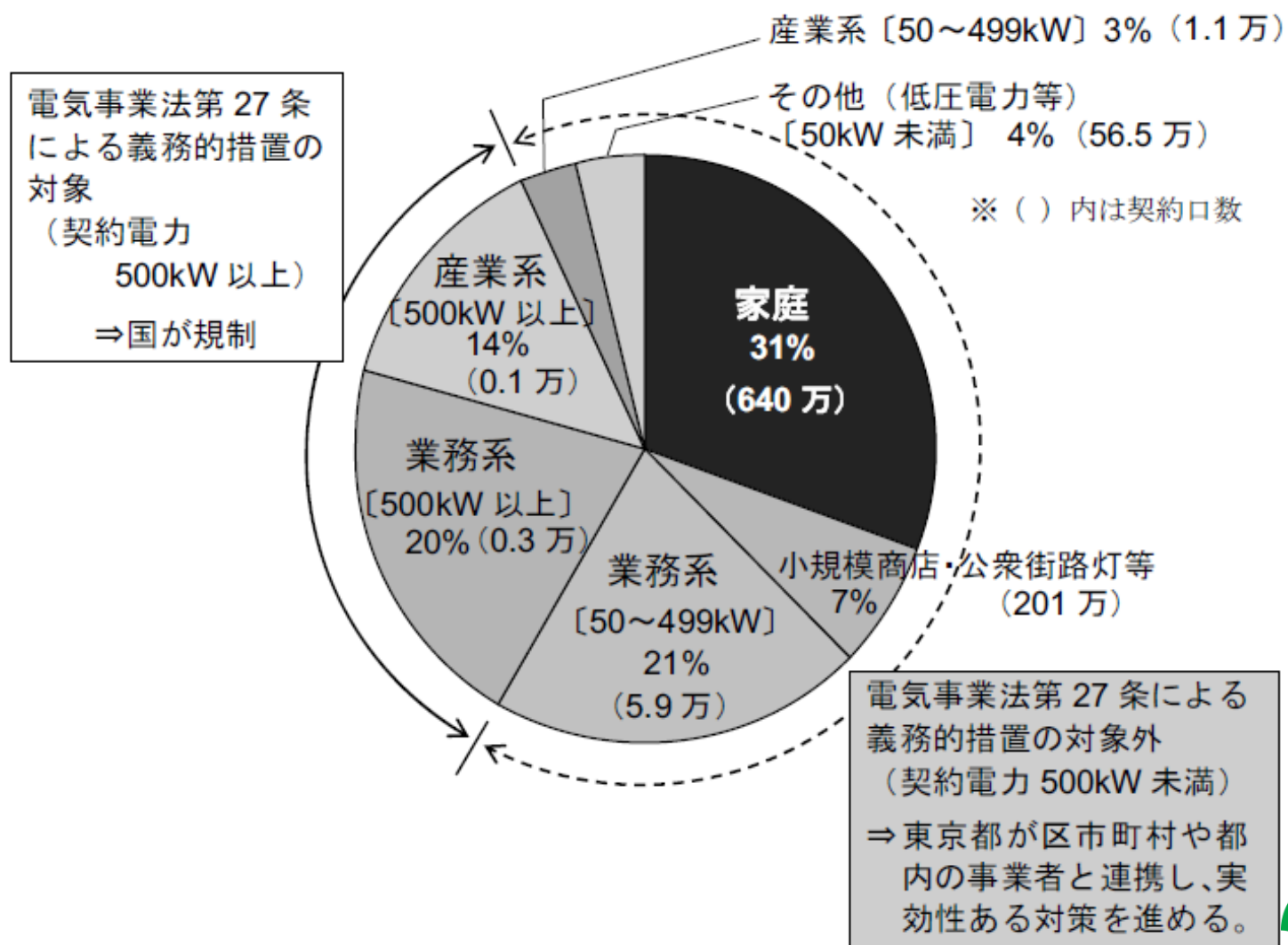


1-1 電力問題に関する

3.11以降の都の取組

- 3月13日夜 政府及び東電、計画停電実施を発表
- 3月14日 計画停電開始
- 3月18日 都：計画停電から電事法による使用制限への移行を求める緊急要望
 - ・鉄道・病院等への重大な支障、経済活動への過大な負荷
 - ・地域的な不平等など問題点が明らかに
- 4月22日 実効性ある対策を求める1都3県の共同提案
- 5月30日 東京都電力対策緊急プログラムの策定
- 6月 3日 「東京都電力需給対策自治体会議」の開催
- 以降 都内経済団体、自治体と連携した様々な取組を展開中

1-2 都内電力消費量の内訳





1-3 「東京都電力対策緊急プログラム」 の特徴

■気候変動対策の成果を生かした取組

- ・総量削減義務など地球温暖化対策の諸制度の活用
- ・蓄積された省エネノウハウの活用
- ・都内の企業・経済団体とのネットワークの活用

■今夏の緊急対策とともに、その先の 「低炭素・高度防災都市」の実現を志向

1-4 主な対策メニュー

①大規模事業所

●キャップ&トレード制度での仕組みの活用

①「トップレベル事業所の評価基準」の228対策の中から、すぐに実施可能な「節電重点10対策」を提示し周知

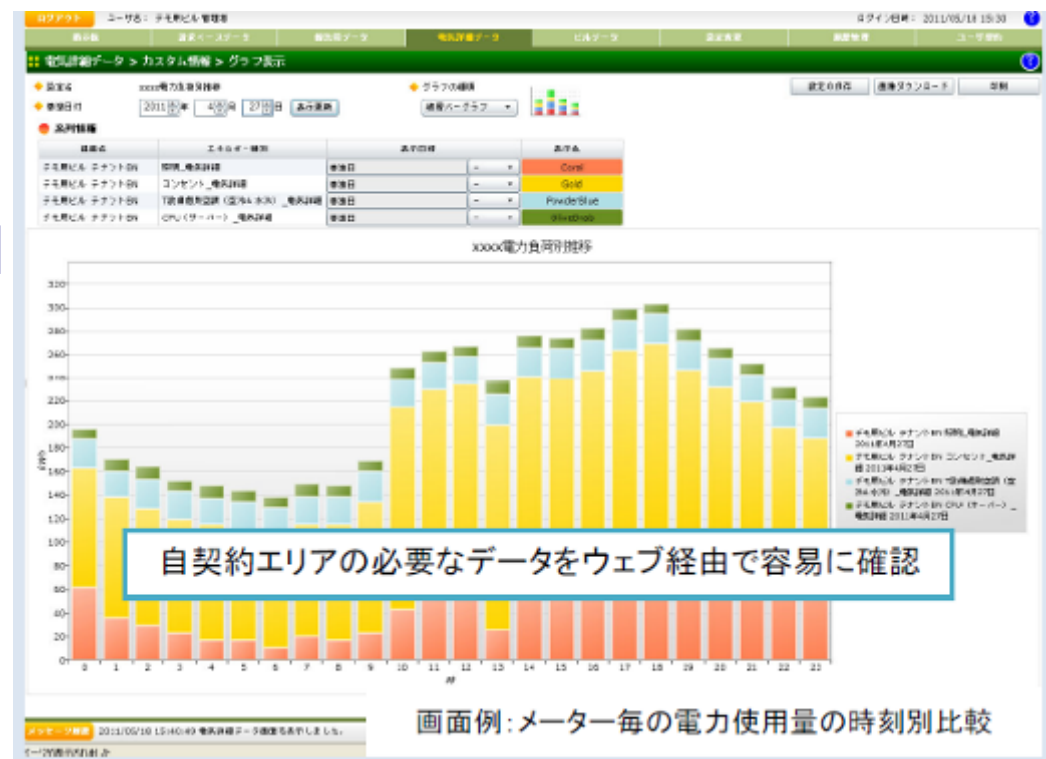
②テナントビルでは、
「テナント協議会」を活用
ー「特定テナント」には省エネカルテを送付

大規模テナントビルでの取組<森ビルの事例>

- 2年前から開発してきた「エネルギーWEBシステム」を、本年5月30日から運用開始

- 80のテナントビルで、約1300テナントの電気使用量を「見える化」

→ 「時間毎」「エリア毎」「用途毎」に容易に確認できる



* 今後はクラウドサービスとしての事業化を目指す



1-5 主な対策メニュー

② 中小規模事業所

- 「地球温暖化対策報告書」提出の
約3万事業所へ節電対策を呼びかけ
- 省エネ診断、業種別・区市別セミナーなど、
従来からの取組の集中実施
→5月から、区市、業界団体と共に、
節電セミナーの開催を開始
- 251の対策メニューを具体的に示す
「ハンドブック」（都作成）の活用

中小企業での取組<東京法人会連合会の事例>

- 昨年3月、都と、地球温暖化対策推進についての覚書を締結
- **会員企業17万社に節電行動を呼びかけ**

各事業所において最大限の節電対策を実施し、照明の間引きなど節電対策と電気の使用を見直す良い機会としましょう

法人会・東京都から会員の皆様への一步踏み込んだ節電対策のお願い
～昨夏比15%削減に向けて～

(照明の間引き対策)

- ・室内空間(オフィス・店内等) ⇒ 1/2以上消灯を目標
- ・共用部(看板、エントランス等) ⇒ 1/2以上消灯目標

(空調の対策)

- ・温度設定の管理を徹底 ⇒ 目標室温28度
- ・空調時のドア閉めの徹底 ⇒ 冷気の漏洩防止

(その他の対策)

- ・その他事業所の特性に応じた節電対策を追及

(国・業界団体等が示す節電対策メニューも参考)

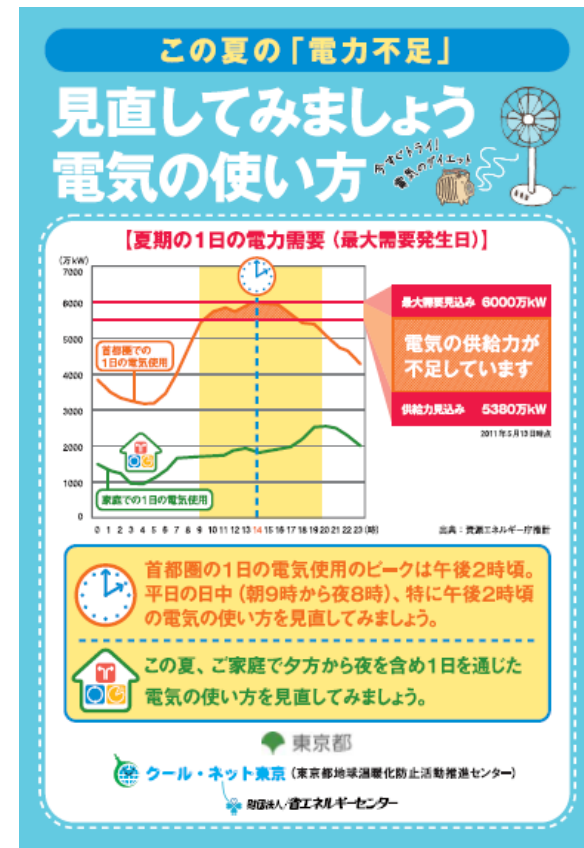
1-6 主な対策メニュー

③家庭への取組（その1）

- 「**家庭の省エネ診断員制度**」を活用した**節電アドバイザーの取組**

東ガス、東電、生協などの社員など約6000人が、都又は省エネセンターの研修を受講

→家庭への訪問など
節電アドバイスを実施中



1-7 主な対策メニュー

③家庭への取組（その2）

- 地球温暖化対策授業の取組を活かし、

「小中学校の児童・生徒など100万人の節電アクション」を開始

- ・7-9月に家庭での節電をチェックシートで取組
- ・公立学校では校長等の省エネ講話や節電授業
- ・各学校から保護者にも呼びかけ

**“がんばろう日本”
節電アクション月間**

平成23年
7月・8月・9月

- 1 冷房の設定温度を高めましょう！
- 2 1日の冷房の使用時間を短くしましょう！
- 3 冷蔵庫のドアを開ける時間を短くしましょう！
- 4 冷蔵庫の設定温度を弱くしましょう！
- 5 冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしましょう！
- 6 部屋の電気をつけっぱなしにしないで、こまめに消そう！
- 7 1日にテレビを見る時間を短くしましょう！
- 8 テレビの画面を明るすぎないように調整しましょう！
- 9 テレビなどを長時間使わないときは、コンセントからプラグを抜くなど、主電源を切ろう！
- 10 ポットや炊飯器などの保温を止めよう！

「水を大切にすることも“節電”につながります！」

- i お風呂では水やお湯を出しっぱなしにしないで止めよう！
- ii 歯磨き、顔を洗うときに水道をこまめに止めよう！

「ごみを出さないことも“節電”につながります！」

- iii 好き嫌いせず、食べ物を残さず食べて食べよう！
- iv ごみは決められたとおりに分けて捨てよう！

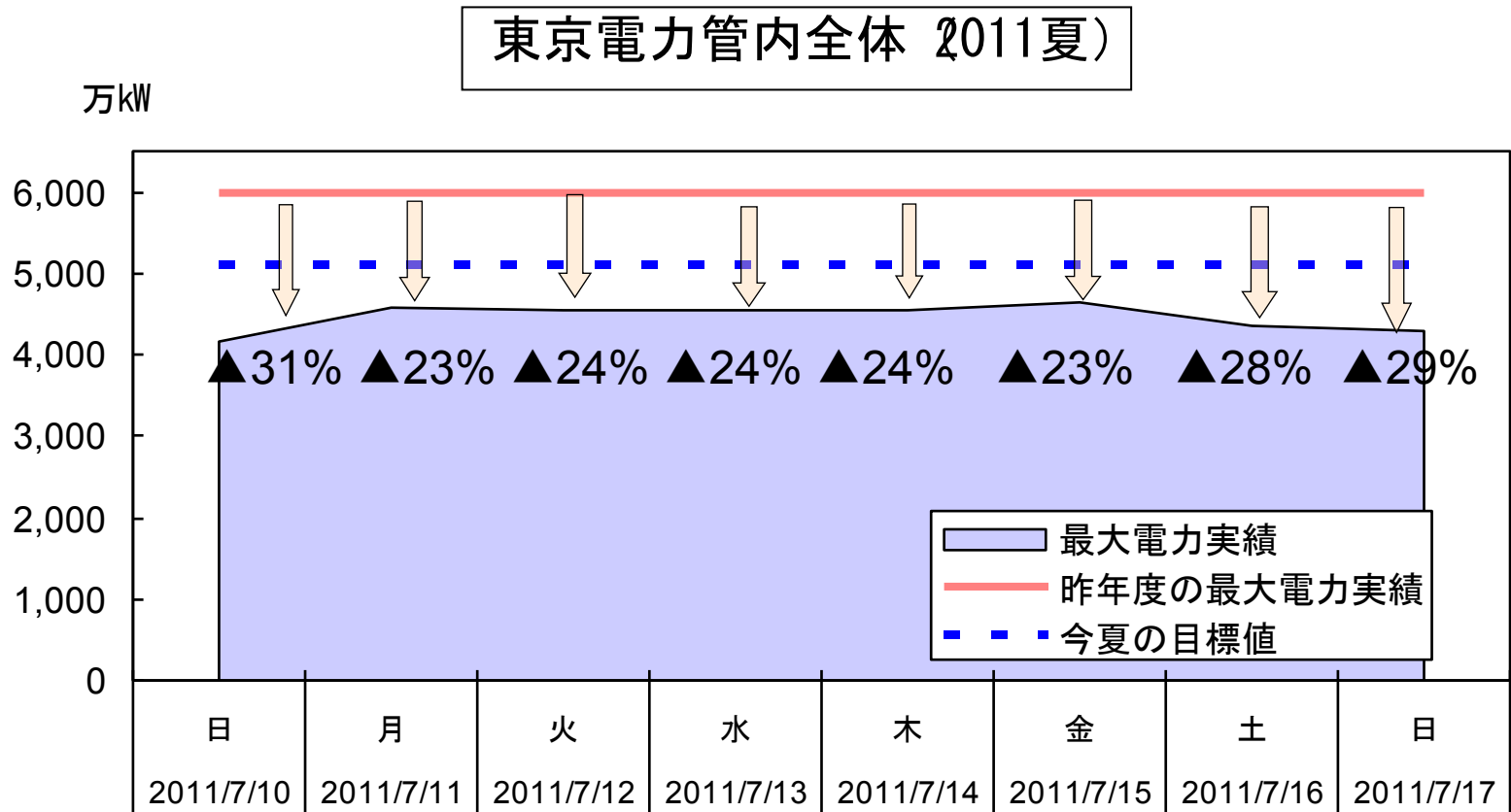
の“節電目標”！

◎ みんなで話し合って、“節電目標”を決めてみましょう！

- ◆
- ◆

1-8 東京での節電の状況

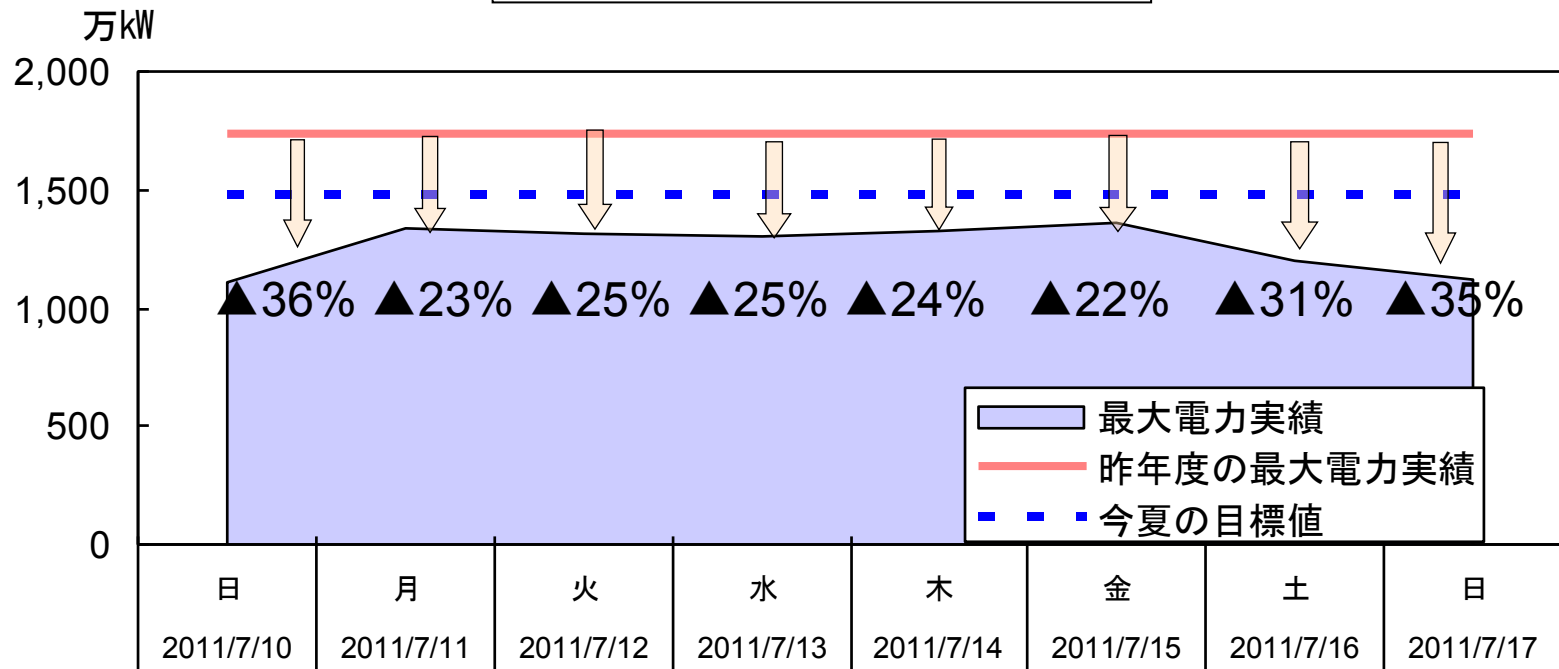
①直近のデータ実績（東電管内全体）




1-9 東京での節電の状況

②直近のデータ実績（東京エリア）

東京エリア全体 2011夏)



***電力需要はコントロール可能であることを示すもの**

An aerial photograph of a city skyline, likely Tokyo, showing a dense cluster of skyscrapers and buildings. A semi-transparent white rectangular box is overlaid on the center of the image, containing the main text. The background is slightly hazy, suggesting a clear but bright day.

2 今夏の経験を活かし、 低炭素で安全安心な電力システムへ

2-1 明らかになった これまでの電力システムの問題点① －中間総括

- 遠隔地の大規模電源に依存する首都圏の脆弱性
－4年ごとに電力不足に直面

	平成 15年	平成 19年	平成 23年(5/13時点)
原因	原発格納容器漏えい 率検査の偽装	新潟県中越沖地震	東日本大震災
事態	原発全炉停止	柏崎刈羽原発停止	太平洋側主要発電所 の停止
供給停止電力	1,730万kW	821万kW	1,390万kW
夏の供給力	6,170万kW	6,214万kW	5,380万kW
夏の需要予測	6,100万kW	6,100万kW	5,500万kW
需要予測最大値	6,450万kW	6,400万kW	6,000万kW

【過去のプレス発表資料等から作成】



2-2 明らかになった これまでの電力システムの問題点② — 中間総括

● 電力需給に関する情報の不透明さ

【供給側】

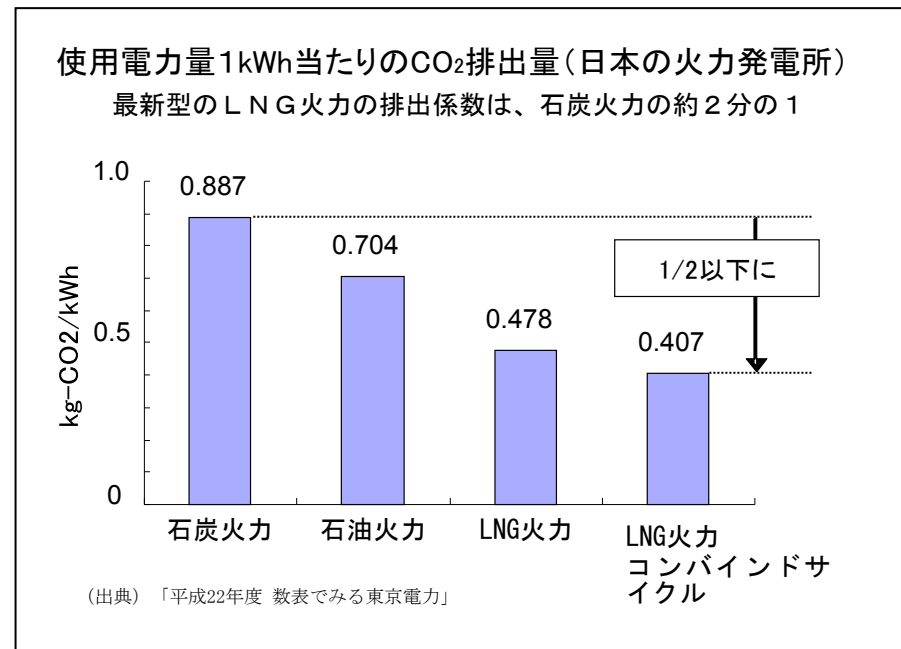
- ・揚水発電の供給力が不明確
- ・自家発電も含め東電以外の火力発電に関する情報が不明確

【需要側】

- ・地域別データ: 東電支社別の前日最大電力まで公表
- ・用途別の毎日の使用量、最大電力等は公表されていない

2-3 明らかになった これまでの電力システムの問題点③ — 中間総括

- 電力の低炭素性の危うさ
— 老朽化した石炭・石油火力の再稼動



2-4 目指すべき方向①

**「我慢の省エネ」は無くし、
「スマートな省エネ」へ**

- **「暗闇オフィス」**
→ **「タスク&アンビエント照明」**へ
- **「30度温度設定」**
→ **空調機の省エネチューニングを**

- **今夏のベストプラクティスを収集**

→その普及により、
より合理的な節電をめざす

*** 「知的生産」の場としての
東京のクオリティを大切に**



三菱地所プレス資料より抜粋



2-5 目指すべき方向②

電力制限制度の合理化

- **これまでの省エネ努力を基準に**
 - 前年度基準の一律15%削減義務は不公平
 - * 都制度では過去3年からの選択制、トップレベル事業所制度などを導入
- **使用制限とともに価格メカニズムを**
- **明らかに無駄な電力利用の削減は強化**



2-6 目指すべき方向③

省エネ技術・製品の全面活用

- **大規模なLED化の加速**
 - 大手コンビニチェーン店、百貨店など
先行的に実施
- **電力の見える化、デマンド監視システムの普及**
- **中小規模でも
CO₂を半減するオフィスの開発**



2-7 目指すべき方向④

低炭素・分散型エネルギー供給 システムへの移行

- **都市開発にあわせた
高効率なコジェネレーションの普及**
- **ライフライン機能の維持に必要な電源の確保**
- **家庭における太陽光・太陽熱などの
創エネ機器の普及**
- **発電事業への実質的な参入障壁を解消すると
ともに、電力自由化をさらに推進**

Tokyo Climate Change Strategy

**首都東京の企業と行政、NGO・都民が
連携して取組む**

東京の「環境エネルギー政策」

**危険な気候変動回避にも資する施策を
東京から率先して実施し、
世界からの支援に応える**



東京都環境局

<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/>